



廃棄物バスターズ(彦根市)

●プラスチック循環型社会の構築を目指して

昨年七月一日より、全国でプラスチック製買い物袋が有料化されプラスチック利用を見直す動きが導入されました。プラスチック製品は丈夫で軽量であることから多く利用されていますが、海洋へ流出した廃棄プラスチック(以下、廃プラ)やマイクロプラスチックは環境破壊等の大きな要因となっています。一方で、従来日本で行われてきた「サーマルリサイクル」は「リサイクル」には含まれないため、日本では廃プラを再度原料として利用する「マテリアルリサイクル」の活用技術が求められています。私たちの研究室は、この問題への取り組みを開始しており、廃プラのマテリアルリサイクル技術の開発を目的として二〇〇四年に「廃棄物バスターズ」を立ち上げました。当団体は、混合系廃プラの主要材料であるポリエチレンとポリプロピレンの混合材料の強度保持を達成できる相容化技術を開発し、二〇〇七年には廃プラから製造したリサイクルプラントを開発し上市を達成しました。

●廃プラを雨水タンクに

より一層廃プラを有効利用するため二〇一七年度から新たな取り組みとして廃プラから製造した「リサイクル雨水タンク」の開発に着手しました。雨水タンクは、雨水を貯めおき、災害時にはトイレなどの生活用水として使用できます。そして、雨水タンクは一時的な治水機能を有することから「分散型ダム」としても利用できます。そのため、今後需要が高まる製品であると考えています。しかし、現在の相容化技術では雨水タンクに必要な耐久性、強度が不足しています。そのため、さらなる技術向上を目指して試作品の作製、評価、改善を行っています。



滋賀県立大学 近江楽座 廃棄物バスターズ

住所: 滋賀県彦根市八坂町2500 TEL: 0749-28-8370

HP: <https://m.facebook.com/廃棄物バスターズ-384030755528280/>

業種: 廃プラを原料とした製品・技術の開発 / 福祉との連携型事業 / 地域の清掃活動・ごみの分類調査 / 廃プラに関する啓蒙活動



代表
杉江 太一さん

当団体はプラスチック循環型社会実現のため、工学部の知識を活かして廃プラ再利用技術の開発を行っています。また、清掃活動やごみの調査活動を通して、琵琶湖を中心としたマイクロプラスチック問題にも取り組んでいます。今後も、地域の企業や団体と連携し、プラスチックごみ削減に努めてまいります。

